



はまだ

市議会だより

2008年(平成20年)

2月1日発行

Vol. 9



議長
牛尾 昭

市議会では、地方分権が進む中、本市の飛躍と発展のため、議会改革の推進と行政財政改革に取り組んでおりますが、それにもまして、市民の皆さんとの協働による活動がこれからまちづくりの大きな要因であると考えます。

本会議のテレビ中継をはじめ、市議会だよりなどで議会の最新情報をお知らせしますので、皆さんにおかれましても引き続き、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
原田 義則

このたび誠に光栄にも副議長に就任し、その責任の重さを痛感しております。

浜田市は、いま、自らの手で創った将来への新市まちづくり計画が動きださんとしている重要な時期にあります。

このような中、議員一丸となってこれら課題に取り組んでまいりたいと考えております。市民の皆さんの一層のご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



監査委員
高原好人

市民の皆さんには、日ごろから市議会に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼

申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により、監査委員に就任いたしました。

監査委員として、市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が適正に行なわれているかを監査いたします。

市民の皆さんの温かいご支援、ご協力を願い申し上げます。



浜田の四季景観100選から 石見海浜公園 杉山淨宣氏撮影

浜田市民歌

呼びかける風に

五十川式部 小六禮次郎 作詞
作曲

一 広がる空を 共に仰げば
歌はあふれる 緑の大地
手をのべ 呼びかける
さわやかな風に 花はほほえみ
あたらしい風に 歩め明日へ
浜田 わがまち 地球といきるまち

二 眇しい海に 汽笛高鳴り
希望はばらく 魚は躍る
手をのべ 呼びかける
はれやかな風に 心ひらいで
あたらしい風に 歩め明日へ
浜田 わがまち 笑顔つどうまち

三 連なる山に 森に流れに
恵み豊かな 優しい故郷
手をのべ 呼びかける
ふくよかな風に 人よ輝き
あたらしい風に 歩め明日へ
浜田 わがまち 文化があるまち
わがまち 地球といきるまち

主な内容

議会のあらまし	P2~3
委員会の紹介	P4~5
決算特別委員会審議結果	P6~7
一般質問	P7~11
議決結果一覧	P11~12

議会のあらまし

平成19年11月浜田市議会臨時会は11月19日に招集され、会期を20日までの2日間開催しました。

また、議会運営委員会から
議会広報広聴調査特別委員会
の設置について提案を行い、
この委員会の設置が決まりま
した。

その他に浜田地区広域行政
組合議会議員等の新しい議員
を選出し、また、農業委員会会
委員も新たに推薦しました。

なお、副議長から辞職願が
提出されましたので、投票前
に所信表明会を開催し、新し
い副議長を決定いたしました。

市長からは、浜田市一般会
計補正予算（第5号）と浜田
市監査委員の選任が提案され、

この臨時会は、浜田市議会委員会条例により議会運営委員会委員及び常任委員会委員の任期（2年）が満了したことから、新しい委員を選任することが主な開催理由であります。

補正予算を可決し、監査委員の選任に同意しました。

▼ 各委員会の新しい委員構成について
議会運営委員会、5つの常任委員会及び4つの特別委員会の委員を選出しました。委員会構成は、4～5ページを参照ください。

▼ 浜田地区広域行政組合議会議員の選出について
次のとおり選出しました。

浜田地区広域行政組合議員の選出について
次のとおり選出しました。

なお、12月21日開催の同組合議会で、議長に小川泰昭議員、監査委員に向惇雄議員が就任されました。

▼ 浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合議会議員の選出について

次のとおり選出しました。

三浦 一雄	江角 敏和
原田 義則	濱松 三男
中村 建二	美浦 美樹

▼ 農業委員会委員の推薦について

山田義喜議員を推薦しました。

▼ 平成19年度、浜田市一般会計補正予算（第5号）

この補正是、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、年度間の事業規模の平準化を計る必要から、浜田駅北地区整備事業について債務負担行為の変更を行い、事業期間の延長を行うものです。

▼ 浜田市監査委員の選任について

高原好人議員が選任されました。

平成19年12月浜田市議会定例会は11月30日に招集され、会期を12月20日までの21日間開催しました。

▼ 平成18年度、浜田市歳入歳出決算認定について

補正の主なものは、地方債の繰上償還に係る経費、ふるさと栄え振興公社や金城町開発公社の支援に係る経費、浜田漁港排水浄化施設の汚水処理経費、浜田市陸上競技場の地盤調査に係る経費等です。

平成19年11月

平成19年12月 定期会議

必ず議長自ら目を通して回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上送信ください)
E-mailアドレス : chairman@city.hamada.shimane.jp

議会運営委員会・常任委員会・特別委員会の紹介

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の円滑な運営を行うため、会派代表が集まって、意見の調整を行う委員会です。

主な仕事は、議会を開催するにあたり執行部等と日時、提出案件等についての調整を行い、さらに議会の会議規則、委員会条例の制定と改正等議長の質問に関することです。

最近は一般質問がテレビで放映されるようになり、活発で開かれた議会を市民の皆様にお届けすべく、市長の施政方針に対するの代表質問制を3月定例会から取り入れます。

(記 下隅義征)



総務文教委員会

総務文教委員会の所管は、大変広範囲でかつ重要な役割を担っていると認識しております。

何時何處で何が起こるか分からない現在、どんな事でも臨機応变に、かつ迅速に対応出来る環境と、均衡のとれた市民サービスが求められます。教育においては、浜田市の将来を担う子供たちが、ふるさとに愛着と誇りをもつてしつかりした大人に成長できるよう教育環境の充実に努めます。

当委員会では、バランス感覚をもつて積極的に活動してまいります。

(記 西田清久)



福祉環境委員会

福祉と環境は、私たちの暮らしの中で大変重要なことであります。しかし、低迷する社会状況の中、市民は厳しい生活環境におかれています。

福祉については、将来にわたっての財政負担や住民サービスの充実について考えていきます。また、環境においては、目に見えない大気の悪化や地球温暖化により、市民のみならず地球規模で、人の命が脅かされています。

当委員会では、調査研究を重ね、市民の暮らしと健康を守っています。

(記 三浦保法)



産業経済委員会

去る十一月の市議会臨時会において産業経済委員長を選任されました。責任の重さを感じております。

浜田市の財政は、大変厳しい状況にあります。その中で島根あさひ社会復帰促進センターや浜田医療センターの建設は、明るいニュースです。私たちのふるさと浜田市を将来にわたり明るく住みよいまちに発展させていくために、産業経済委員会が担当している農林水産業及び商工観光業に、知恵と力を結集して懸命に努力していく所存です。

(記 山崎晃)



建設都市委員会



この度、委員のご推薦をいただき、建設都市常任委員長に就任することになり、身に余る光栄と、その職責の重大さを痛感している次第であります。

本委員会は、土木、建築、

都市計画、上下水道等のまちづくりのハード面をすべて所

管する重要な任務を持つてお
り、特に浜田三隅道・三隅益
田道・各自治区間をつなぐ20
分間構想・未整備の市道改良
事業等々、早期実現に向け、
安全で安心して住めるまちづ
くりを推進してまいります。

(記) 島本鎌利



当委員会においては当初予算はもちろんのこと、補正予算に関しても、市民からの血税を含め、貴重な財源をいかに市民の視点に立ち市政発展のために活用していくのかを真剣に議論しています。

今後の課題としては、一般会計等の予算が一括で提案され、個々の業務に対して賛否があつても可決か否決が基本であるため、今後議員の権能を發揮するために、案件に問題があれば積極的に修正提案するための取り組みを行いたいと考えています。

(記) 川神裕司



本委員会は、センター設置並びに運営に関する事項の調査及び研究を目的に各常任委員会から9人の委員が選出され、これまでの委員会では経済効果を中心に調査を重ねてきました。

現在、今年10月の開設に向け、着々と建設工事が進んでおり、その威容が姿を現しつつあります。

センター開設による地元への経済効果を追求することはもとより、いかに地域との共生、共創を図るかを精力的に調査・研究してまいります。

(記) 田村友行



本委員会は、センター設置並びに運営に関する事項の調査及び研究を目的に各常任委員会から9人の委員が選出され、これまでの委員会では経済効果を中心に調査を重ねてきました。

現在、今年10月の開設に向け、着々と建設工事が進んでおり、その威容が姿を現しつつあります。

センター開設による地元への経済効果を追求することはもとより、いかに地域との共生、共創を図るかを精力的に調査・研究してまいります。

(記) 牛尾博美



議員定数等調査特別委員会は、平成21年予定の浜田市議会議員選挙にあたり、浜田市議会に何名の議員が必要かを決める委員会です。次回の選挙区については、12月18日の特別委員会で全市一区という確認がされました。

現在の議員数は36人ですが、浜田市の人口に対する上限法定数は30人です。

議員定数については、多くの市民の方の関心のあるところですが、委員会での議論をつくし、市民の理解が得られるよう努力します。

(記) 牛尾博美

予算審査委員会

島根あさひ社会復帰促進センター調査特別委員会

行財政改革推進特別委員会

議員定数等調査特別委員会

平成18年度 一般会計歳入歳出決算、四つの付帯意見を付して認定

平成19年10月15日から10月18日までの4日間にわたり、決算特別委員会を開催し、12名の委員により総務文教・福祉環境・産業経済・建設都市の各常任委員会ごとに、関係する執行部の出席を求め、審議を行いました。

浜田市役所5階の全員協議会室で開催した決算特別委員会審査の様子



審査にあたり、当市の財政状況の現状をかんがみ、いかに予算が無駄なく適正にかつ効率的に執行されたかどうかの執行状況、また、その執行が市民福祉の向上に寄与しているかどうかの効果などについて、多数の質疑を行いました。

なかでも、市財政に直結している人件費や第三セクターへの補助金等や市税、給食費等の公共料金の未納問題に質疑が集中しました。

以下、議案ごとの審査状況です。

(審査結果)

認定第1号平成18年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について

以下の四つの意見を付して全会一致で認定すべきものと決しました。

2. 第三セクターの経営改善対策の強化について

合併後二年が経過し、新市一体化、均衡あるまちづくりを推し進めて行く中、組織体制の見直しによる事務の合理化、本所・支所間の指示命令系統の見直しによる機能の充実を図り、自治区間での整理事項を期限内で速やかに遂行

1. 収納対策の強化について

徴収率が対前年比で上昇し、取り組みの成果は認められるものの、多額の滞納額は、財政を圧迫する大きな要因である。

税の公平公正の原則を損なうことがないよう、収納率向上に向け、これまで以上に延滞に対しての取り組みを強化されたい。

また、県との連携により収納率を高めている先進地事例の調査研究や、職員研修により、新たな延納者を増やさないための施策の実施に努め、住民に信頼される正確な税務行政を確立されたい。

3. 組織体制の強化について

経営でなく、監査機能を強化する等、第三セクターに対する市の支援のあり方にについて、国が示している指針を元に早く基本方針を示すとともに、財政上の問題点と改善策を明らかにし、経営内容についての透明度を高めるよう努められたい。

また、決算報告書等については様式の統一を図るなど第三者に対してもわかりやすいものとするよう指導されたい。

委員長	平石 誠
副委員長	角田 勝幸
委員	濱松 美穂
西村	下隅 義征
濱松 三男	新田 勝己
道下 文男	三浦 保法

(決算特別委員会委員)

3つ目について

4つ目について

決算特別委員会審議結果

に努められたい。

また、職員の適材適所および適正な労務管理に努めるとともに、危機意識をもつて指導・監督にあたられたい。

4. 行財政改革の推進

財政状況が危機的状況にあるなか、更なる効率的な行政システムを構築し、経費削減に努め、健全な財政運営が執行されるよう、引き続き検討されたい。特に、補助金等については必要性、有効性をかんがみ内容を精査し交付されたい。

認定第2号平成18年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定から認定第13号平成18年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定までの12件について

全会一致で認定すべきものと決しました。

認定第14号平成18年度浜田市水道事業会計決算認定について

5ヵ年計画を確実に実行し、有収率の向上、遊休資産の有効活用、業務のアウトソーシングの推進等を図り、更なる経営の健全化を図られたい。

認定第15号平成18年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について

全会一致で認定すべきものと決しました。

般質問

質問

ケーブルテレビの整備について本年度以降は、公設民営で行うとのことだが、加入者負担と市の補助について、どう考えているのか。

答弁

旧那賀郡エリアにはテレビの共聴施設設置地域が多く、強力な誘導策を実施しないと加入者が低迷し、市の運営費負担増が想定される。このため、収支の分岐点である加入率80%達成の取り組みとして、一定期間内に申し込みがある場合、加入料3万1500円の補助を考えている。

質問

浜田自治区エリアでは補助がなく、加入率も35%と低い。格差是正のために、浜田自治区の加入率向上施策について再考してもらいたい。

答弁

地域情報提供などの面で加入率向上を図っていきたい。

ケーブルテレビの整備計画について

西村 健議員

学校教育と産業振興定住雇用推進について

道下文男議員

ホームページでの情報開示について

三浦一雄議員

質問

① 少人数TT授業・保護者道德・ソーシャルスキル活動の導入、それに学校評価の徹底を図る等、学校教育の向上について問う。

答弁

② マリンスポーツ等、地域資源で市の活性を図るU・Iターンの若者達、又は既存中小企業に支援の充実を図るなど、産業振興について問う。

③ 觀光拠点としての矯正施設について所見を問う。

答弁

① 教育委員会としてもあらゆる角度で取り組んでいる。学校評価は省令に基づき、来年度から一新して取り組む。

② 活性化団体にはあらゆる手段で支援し、既存企業には新たに支援組織を立ち上げる。

③ 関連施設については検討の余地がある。

その他の質問

① 地域の活性化について

② 財政の健全化について

質問

① 住民に分かりにくい、行政事件が発生した時点での経過や判断内容が不明なため、行政不信・不安が蓄積されている現状に対する見解を伺う。

答弁

② 真相が住民に伝わらず、結果が先行することによる苦情が直接、市職員に向けられ、精神的苦痛となっているが、打開策について伺う。

答弁

③ 浜田市としての真相結果を、ホームページを活用して情報開示したらどうか。

答弁

① 事実確認した後、直ちに市議会や報道機関に報告・説明を行なっている。今後情報開示の方法について、関係部署で検討する。

② 普段からの危機管理体制の確保等を確実に実行する。また、職員と対話を重視して挑戦の精神で取り組む。

③ 記者会見等で配布した資料を、開示の方向で検討する。

一般質問

中学校における通級指導教室の設置について

江角敏和議員

質問

市内の中学校へ、言語や聴覚障害・^{※1}LD・^{※2}ADHDのある子供たち等、一人一人の教育ニーズに合った教育が受けられる通級指導教室の設置を求める切実な声・要望があるが、教育委員会の考えを伺う。

答弁

現在、松原小と三隅小に通級指導教室を設置している。

中学校への進学にあたっては、その教室がないため、特別支援学級に入学するか、通常の学級に入っていたいいる。保護者会からの要望も踏まえ、県へ要望をしている。正式決定は、平成20年との明るい感触を得ている。

※2 ADHD: 注意欠陥多動性障害

- ① 財政状況と今後の事業実施について
- ② 事務量調査と機構改革について
- ③ 消防本部の広域化等について

中期財政計画について

岡田治夫議員

質問

① 新市建設計画が合併後、わずか2年で約58%に修正された原因について問う。

② 構造的収支不足について、積極的增收策として、序々内に産業振興・企業誘致プロジェクトチームを設置する等について問う。

答弁

① 平成18年度当初予算編成時に予想を上回る大幅な財源不足が明らかになった。理由として、下水道事業や、簡易水道事業の特別会計への繰出金が予想以上に膨んだこと、主要事業が前半に集中したこと、新たな国の「再生法」への対応などが挙げられる。

② 税収面では、「島根あさひ社会復帰促進センター」「風力発電」関係の増収、使用料や手数料などでは、ごみ処理手数料等を見込んでいる。地場産業の振興・企業誘致・浜田港の利用促進等にも期待する。

介護保険料の値下げの必要性について

渋谷幹雄議員

質問

浜田市の六十五歳以上の第1号被保険者の介護保険料は、平成十八年に「三三三〇円から四八〇〇円へ」という県内最大の値上げにもかかわらず、市民の皆さんとのよき理解を得て、前期の負債を解消できる

状況にまで改善された。介護保険制度の立て直しが見込まれる以上、平成二十一年から始まる第四期の介護保険料は、負債返済分の、少なくとも年間三六〇〇円安くした、月額四五〇〇円まで値下げすべきではないか。

答弁

介護保険料は、全国平均が四〇九〇円、松江市が三九八〇円、益田市が三九九五円で、浜田市の四八〇〇円が高いことは十分理解している。また、現在の保険給付費の状況や借入金の返済完了を考えると、平成二十一年から介護保険料は値下げする方向で考えたい。

- ※2 LD: 学習障害
- ① 他の質問
- ② 地域文化の保存継承について
- ③ 財政運営について

放置物件の対策について

大谷弘幸議員

質問

現状と課題及びその対策と取り組みについて問う。

市内には様々な物件が放置されており、市民からの苦情や通報、環境パトロールによる把握に努め、担当課で対応処理している。放置物件は良好な市民生活に多大な影響を与えると認識している。

答弁

また、撤去指導や防止対策とともに広報等による啓発活動を実施している。災害発生時に想定される放置物件による被害拡大については関係機関と連携対応する。公有地は法律や条例で対応しているが、民有地における取り組みについての市民に対するガイドライン・指針は関係部署相互で検討する。

- ① 安全なまちづくりの推進について
- ② 地域文化の保存継承について
- ③ 財政運営について

収納対策について

三浦保法議員

質問

平成18年度決算の累積滞納額は、市税・国民保険料・保育料・住宅使用料・下水道分担金・水道使用料などで、総額約7億円ある。集金しなければならないのに回収できていないお金を確保すれば、市に必要な約7億円の事業を実施することができる。

今後の収入未済額の徴収の取り組みについて問う。

答弁

徴収取り組みについては、新規滞納者への早期着手、財産調査の徹底、差押さえなど、徴収対策を一層推進していく。また、民間に業務委託するにあたっては今後、先進地の事例を参考にし、徴収効果と経費節減が期待できるものについては積極的に取り組んでい

- ① ナラ木の立枯れについて
- ② 財政運営について
- ③ その他の質問

一般質問

「寄付条例」の導入について

佐々木 豊 治 議員

質問

全国の自治体では厳しい財政難のもと、近年、全国から寄付を募り、それを財源にして施策を実現する「寄付条例」を導入する動きが拡大している。これは、自治体で複数の施策メニューを示し、全国の個人や団体に政策を選んで寄付をしてもらい、政策を実現するものである。市の新たな財源確保の観点で、福祉サービスの充実などのメニューで、取り組みを検討されるべきと思うが、所見を伺う。

答弁

「寄付条例」制定の動きは、財源確保の観点だけではなく、新たな住民参加の自治、地域づくりの参加手法として評価している。今後、何が政策メニューに成り得るのか十分に検討したいと思う。

その他の質問
① 若者の就労支援について
② 新交通システムについて



金城町
若生まなびや館

浜田市広島PRセンターについて

鎌 原 ヤシエ 議員

質問

PRセンターの今後の事業の取り組みについて、考えを聞かう。

答弁

石見銀山遺跡の世界遺産登録を契機として市内観光施設の入り込み客も上昇傾向になり、また「なつかしの国、石見」として地域を売り出す絶好の機会である。今後観光関係団体や企業へのアプローチを展開し、積極的にPRセンターを活用する。

- ① ブータン王国との交流について今後の方向性を伺う。
- ② 浜田市にブータン領事館を設置するよう働きかけては。
- ③ 学校給食における地元農産物の使用状況についての認識と問題点について問う。
- ④ 生産者と調理現場との間に、流通を含め調整役が必要と思うが、所見を伺う。

答弁

① 過去の交流の実績を受け止め、「友好交流協定書」の調印締結を行なうべきと思う。

答弁

② 外務省によると諸条件により現実的に不可能。しかし、国際交流協会内に友好協会の設置は可能とされている。

③ 米は一〇〇%地元産、残る農産物は地元産一〇〇%台、格品の多量納入などである。

④ 調理現場と相談しながら調整役も考えていく。

ブータン王国との交流と地産地消について

西 田 清 久 議員

質問

① ブータン王国との交流に下排水整備は欠かせない。

県では、全国平均より20%も低い汚水処理普及率を平成22年度72%を目標に事業推進しているが、浜田市の下排水の現状と市の認識を問う。

② 平成22年度末の市の整備目標、普及率の設定を問う。

③ 自治区間で人數割と上水道の従量制で異なる下水利用料は、どう統一するのか。

① 浜田26%、金城19%、旭43%、弥栄58%、三隅67%、市全体で32%で施設普及率は県東部に比べ低い。

② 市全体で44%が目標である。財政事情もあるが事業の重要性の認識に変わりない。

③ 来年度中に審議会を立上げ、統一料金に調整したい。

④ 生活道路や小河川の維持管理方法の改善について

下排水事業の推進について

木 村 正 行 議員

質問

① 生活環境や水環境の保全に下排水整備は欠かせない。

県では、全国平均より20%も低い汚水処理普及率を平成22年度72%を目標に事業推進しているが、浜田市の下排水の現状と市の認識を問う。

② 特定高齢者の把握の取り組みを問う。

③ 本庁一ヶ所の地域包括支援センターは各自治区においても機能しているか問う。

④ 新予防給付や、地域支援事業の課題を問う。

① 新予防給付や、地域支援事業の課題を問う。

② 特定高齢者の把握の取り組みを問う。

③ 本庁一ヶ所の地域包括支援センターは各自治区においても機能しているか問う。

④ 新予防給付や、地域支援事業の課題を問う。

① 虐待防止の取り組みの強化や、事務量の増加に対応するためのサブセンター設置を検討する。

② 基本健診受診の際にチエックリストで把握していたが、来年度は「生活機能評価」の実施方法を協議し、的確な把握を行い、介護予防につなげていきたい。

③ 各支所に相談窓口としての機能を設けている。専門職が協働し、連携体制を強化していく。

介護保険制度について

三 浦 美 穂 議員

質問

地域包括支援センターが設置され、介護予防の取り組みが始まっている。

① 新予防給付や、地域支援事業の課題を問う。

② 特定高齢者の把握の取り組みを問う。

③ 本庁一ヶ所の地域包括支援センターは各自治区においても機能しているか問う。

④ 新予防給付や、地域支援事業の課題を問う。

① 虐待防止の取り組みの強化や、事務量の増加に対応するためのサブセンター設置を検討する。

② 基本健診受診の際にチエックリストで把握していたが、来年度は「生活機能評価」の実施方法を協議し、的確な把握を行い、介護予防につなげていきたい。

③ 各支所に相談窓口としての機能を設けている。専門職が協働し、連携体制を強化していく。

① 若者の就労支援について
② 新交通システムについて

一般質問

* AEDの公的施設への配備について
その他の質問について
※ AED : 自動体外式除細動器

石見畠ヶ浦の景観の整備と保存について

山崎 晃議員

質問

- ① 森林の枯れ木の伐採について問う。
- ② めがね橋の補修整備について問う。
- ③ 石見畠ヶ浦博物館（仮称）建設について問う。

答弁

- ① 天然記念物指定区域内であれば国への協議も必要となる。教育委員会とも協議し、危険性を伴う枯れ木は、伐採したい。
- ② 橋の下端筋が腐食し、爆裂している状態であり、安全面に不安があるので、橋の中央に仮設の支柱を入れるなど、応急処置を考えている。
- ③ 保存、管理、活用をさらに展開させていくためにも、博物館建設の必要性は、認識しているが、現況は難しい状況にある。

行財政改革推進の諸課題について

川神裕司議員

質問

- ① 「電算業務」に関して、次世代システム開発は極めて重要だが、開発の課題は何なのか。また莫大な経費を要するため広域での開発を検討してはどうかを、聞きたい。
- ② 行革推進には管理職の役割は重要だが、管理職の条件とは何かを、聞きたい。

答弁

- ① 電算コストの削減が一番の課題である。また汎用CPUを廃止しオープン型CPUへ移行し、安定性のある既製品ソフトを基本にシステム開発を行った。また広域開発は理想だが自治体により更新時期、メーカーが異なり厳しい。
- ② 統率者としての人格や、仕事改善に熟達したこと、職場管理・教育訓練に精通していること、仕事への知識や熟知度の高さ等が必要条件と考える。

議決結果一覧

市長提出議案

議案番号	件名	議決結果等
条例議案	議案第106号 浜田市移動通信用鉄塔施設条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
	議案第107号 浜田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
	議案第108号 浜田市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	全会一致 原案可決
	議案第127号 浜田市議会議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
	議案第109号 浜田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
	議案第110号 浜田市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
	議案第111号 浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数 原案可決
	議案第112号 浜田市後期高齢者医療に関する条例の制定について	全会一致 原案可決
	議案第113号 浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
予算議案	議案第116号 平成19年度浜田市一般会計補正予算（第6号）	賛成多数 原案可決
	議案第117号 平成19年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
	議案第118号 平成19年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
	議案第119号 平成19年度浜田市老人保健医療事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
	議案第120号 平成19年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
	議案第121号 平成19年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
	議案第122号 平成19年度浜田市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
	議案第123号 平成19年度浜田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
	議案第124号 平成19年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
	議案第125号 平成19年度浜田市水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
議一般事案件	議案第126号 平成19年度浜田市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
	議案第129号 平成19年度浜田市一般会計補正予算（第7号）	賛成多数 原案可決
	議案第114号 指定管理者の指定について（浜田市国民宿舎千畠苑）	賛成多数 原案可決
	議案第115号 市道路線の認定について（周布97号線）	全会一致 原案可決
	議案第128号 工事請負契約の締結について（浜田駅北地区整備事業）	全会一致 原案可決

議決結果一覧

	議案番号	件名	議決結果等
認定議案	認定第1号	平成18年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第2号	平成18年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第3号	平成18年度浜田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第4号	平成18年度浜田市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第5号	平成18年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第6号	平成18年度浜田市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第7号	平成18年度浜田市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第8号	平成18年度浜田市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第9号	平成18年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第10号	平成18年度浜田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第11号	平成18年度浜田市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第12号	平成18年度浜田市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第13号	平成18年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
	認定第14号	平成18年度浜田市水道事業会計決算認定について	全会一致 認定
	認定第15号	平成18年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について	全会一致 認定
同意議案	同意第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
	同意第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
	同意第8号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意

請願

	議案番号	件名	議決結果等
請願	請願第10号	健康保険でよい歯科医療の実現を求める意見書提出に関する請願について	賛成多数 採択
	請願第11号	森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書提出を求める請願について	全会一致 採択
	請願第12号	後期高齢者医療制度の抜本的見直しに関する請願について	継続審査
	請願第13号	2008年4月実施の後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願について	賛成少数 不採択

議会提出議案

	議案番号	件名	議決結果等
意見書案	発議第10号	地方の道路整備の財源確保に関する意見書について	全会一致 原案可決

議会追加提出議案

	議案番号	件名	議決結果等
意見書案	発議第11号	健康保険でよい歯科医療の実現を求める意見書について	賛成多数 原案可決
	発議第12号	森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書について	全会一致 原案可決



この度、11月臨時会において議会広報広聴調査特別委員会が設置され、それに伴い新しい委員が選任されました。初心に返り、今までのスタイルを尊重しつつ、皆さんに親しく読んでいただけるよう内容の充実した紙面づくりに努めます。12月議会は、市の危機的財政難の中、一般質問20人中9人が財政関係の質問でした。これからも市民と議会を結ぶ重要な役割を担う広報づくりに精進します。

(記 錦原ヤシト)

あとがき

この度、11月臨時会において議会広報広聴調査特別委員会が設置され、それに伴い新しい委員が選任されました。

初心に返り、今までのスタイルを尊重しつつ、皆さんに親しく読んでいただけるよう内容の充実した紙面づくりに努めます。

12月議会は、市の危機的財政難の中、一

般質問20人中9人が財政関係の質問でした。

これからも市民と議会を結ぶ重要な役割

を担う広報づくりに精進します。

(記 錦原ヤシト)